

ブックタイトル

ドイツ語の文法

セクション 1

はじめに

文法を勉強するためには、文法用語を少し理解しておく必要があります。残念ながら会話練習のように楽しい作業ではありませんが、会話練習で覚えたドイツ語をもとに新しい文を組み立てていくためには不可欠の作業です。少し耐えて頑張ってみてください。

人称

数

格

時制

態（ムード）

<https://www.bookwidgets.com/play/E6KJQ>

書き込み

<https://www.bookwidgets.com/play/26KXP>

移動

インタラクティブ 1.1 Lorem Ipsum dolor amet, consectetur



Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit,
sed do tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua.

語順について

セクション 1

定形第2位なる原則

ドイツ語の語順の基本は「定形第2位」と言われる原則です。

これは、簡単に言うと「動詞は必ず前から2番目に来る」という原則。定形とはその動詞の主語に応じて変化した形です。

助動詞がある場合のように「動詞」が複数ある場合でも、定形（＝主語に応じて形が変わる動詞）は一つだけで、それ以外の成分は文末に置かれます。助動詞があればこれが変化します。動詞が二つ以上あるケースは、「話法の助動詞（英語で言う「can」「may」など）を使った文」「完了形」「複合動詞（？）essen gehenなど」

ドイツ語の語順の規則はほぼこれに尽きます。日本語なら「動詞は語末にある」という規則を守る日本語で言えば、

セクション 2

原則には例外がある

疑問詞のない疑問文

副文の場合（従属接続詞で始まる文や関係文など）

命令文

動詞の現在人称変化

ドイツ語の動詞は、主語に応じて形が変わります。これを「動詞の人称変化」と言います。ここでは現在形についての人称変化なので「現在人称変化」となっています。（過去形の場合は「過去人称変化」といいます） <https://www.bookwidgets.com/play/Z6VMQ>

インタラクティブ 3.1 Lorem Ipsum dolor amet, consectetur



ここに練習問題が表示されない場合は次のアドレスにアクセスしてください：<https://www.bookwidgets.com/play/Z6VMQ>